



思い描いていた未来を「現実」にする仕事

情報流通行政局情報流通振興課デジタル企業行動室 課長補佐

清尾 勇哉 SEO Yuuya

- 平成 21年 4月 総務省採用
- 同 情報通信国際戦略局情報通信政策課
- 7月 同 情報通信国際戦略局参事官(通信・放送総合戦略担当)付
- 平成 22年 7月 同 情報流通行政局放送政策課
- 併任 情報通信国際戦略局情報通信政策課
- 併任 情報通信国際戦略局参事官(通信・放送総合戦略担当)付
- 平成 23年 7月 内閣官房副長官補付
- 平成 25年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課 ネットワーク化促進係長
- 平成 27年 6月 金融庁監督局総務課課長補佐
- 平成 28年 7月 留学(仏国エクス・アン・プロヴァンス政治学院)
- 平成 30年 6月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐
- 令和 元年 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課課長補佐
- 9月 総務大臣政務官秘書官
- 令和 2年 9月 現職

もっと〇〇だったらいいのにな、という思い

皆さんは、日々の生活の中で「もっと〇〇だったら便利になるのにな」と思うことはありませんか?私は自分が学生だった頃、小銭がたまって分厚くなった財布をみて、「小銭のやりとりなんて煩わしいだけだからもっとうまいことできないのか」と思ったり、楽しみにしていたテレビ番組などを見逃した時などは、「携帯電話で後から見られればいいのに」なんて思ったりしたこともありました。

日々業務に取り組んでいます。また、過去には、日本で初めて5Gを導入する為の指針作りにも携わりました。5Gは、2時間の映画を数秒でダウンロードするほどの高速通信が可能となるなど、これまでにない新たな特徴を持つものです。そんな5Gが、日常生活でも産業分野でも、日本全国で有意義に利用されるためのルール作りに、チーム一丸となって取り組んだことが昨日のように思い出されます。

ちと一緒に、未来を「現実」にする仕事をしませんか。



総務省フットサルチームのチームメイトと

これまでの業務経験

これを読んでいる皆さんにとって、上に書いたようなことは、もはや当たり前の様に解決されていることでしょう。しかし、約10年前の自分にとっては思い描いていた未来。私が総務省で携わってきたいくつかの仕事は、そんな未来に関係するものでした。現在、私は、キャッシュレス決済推進のため、統一QR「JPQR」の普及展開を行っています。林立するQR決済コードの規格を統一した「JPQR」の利便性を、多くの皆さんに知ってもらいたいと

未来はどんどんやってくる

「もっと〇〇だったら便利になるのにな」という願望が叶う時、多くの場合、技術の進歩がきっかけとなるものです。しかし、新たな技術が安全に、混乱なく使われるためには、時に新たなルールが必要となります。私たちは、常に新しい技術と向き合い、それがどうしたら世の中になじむ形で使われるか、現実的に考えていく責務があります。これからも、常に新しい技術が登場し、多くの人の願望が絵空事でなくなる日がやってくるでしょう。その時には必ず、私たちが責任を持って世に送り出すルールがそこにあるはず。皆さんも、私た

ICT分野の国際戦略立案

総務省が所管する5G等のICTは、国際的にも、社会発展や経済成長を実現するための重要基盤として大きく関心を集めています。一方で、重要な社会基盤であるがゆえ、そのセキュリティをどのように確保するかは大きな課題です。また、日々進化するICT技術は、使い方によっては監視社会を実現させてしまうなどの懸念も高まりつつあります。そうした中で、セキュアで高品質な我が国のICT技術への国際的な関心も高まりつつあり、海外展開の好機ともなっています。

総務省では、そうしたICT分野の国際的課題に対して戦略的な対応を一体的に進めるため、2020年、「デジタル国際戦略室」を立ち上げました。私はこの新部署で、各課題についての国と連携してどういった議論を進めるべきかという大きな戦略について、各国担当者や日々議論を積み重ねているところです。

各国政府との真剣な議論

また、私は欧米諸国との関係構築も担当し

ており、戦略に基づき連携を深めるための実行まで一貫して担当しています。民主主義やプライバシー等の基本的な価値観を共有する欧米諸国と、安心安全なICTの活用を促進するためにどう協力して対応すべきか、とても前向きな議論ができています。

例えば「インターネットエコノミーに関する日米政策協力対話」は、米国は国務省、日本は総務省を主担当として、ICTに関するあらゆる分野の政策議論を実施する重要な会議です。私はこの会議の日本側主担当者として、国務省担当者、在米大使館等と連携して、アジェンダ設定、会議運営、共同文書の採択まで幅広く携わっています。会議前には多くの業務が発生しますが、内外から議論の質について高い評価を得て具体的な協力プロジェクトに繋がっていくと、とても達成感を感じます。また、この原稿を書いている時点では、米国新政権との新たなICT分野での日米協力関係構築に向けて、日々ワクワクしながら業務にあたっています。

総務省は、国内・国際ともに我が国の最先端のチャレンジをリードしていける素晴らしい舞台です。フロンティアにおける国家の重要な

課題に取り組む熱意ある方々と一緒に働けることを楽しみにしています。



留学したときの卒業プロジェクトの写真(筆者は左から3番目)

激変するグローバルICT環境をリードする

国際戦略局国際経済課課長補佐
併任 国際戦略局国際政策課デジタル国際戦略室

人見 彰彦 HITOMI Akihiko

- 平成 21年 4月 総務省採用
- 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
- 平成 23年 7月 同 人事・恩給局総務課 勤務
- 併任 内閣官房行政改革推進室室員
- 併任 国家公務員制度改革推進本部事務局局員
- 平成 25年 7月 総合通信基盤局電波部電波環境課生体電磁環境係長
- 平成 27年 7月 留学(米国カーネギーメロン大学)
- 平成 29年 1月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課課長補佐
- 7月 同 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課ブロードバンド整備推進室課長補佐
- 平成 30年 7月 国土交通省総合政策局国際物流課課長補佐
- 令和 元年 7月 同 参事官(国際物流担当)付
- 令和 2年 7月 現職

